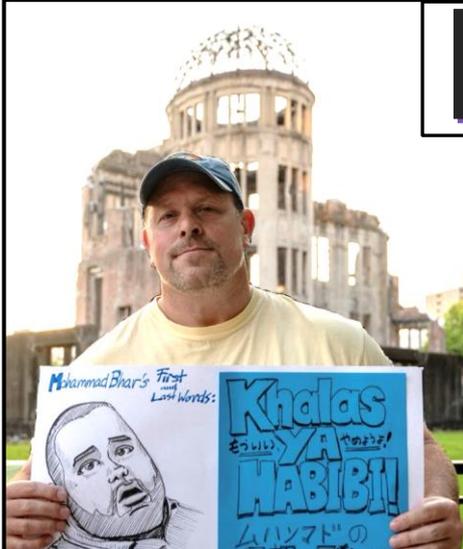


同朋講座



講師
アシュリー・サウザー氏
「広島パレスチナ
ともしび連帯共同体」

講題
『ガザに住んだ経験から』



講師
レベッカマリア・
ゴールドシュミット氏
「広島パレスチナ
ともしび連帯共同体」

講題
『なぜ私は反シオニストユダヤ人として
パレスチナ解放を支持するか』

日時 2024（令和6）年
9月15日（日）14:00～16:30

会場 本願寺備後教堂 本堂

参加費 1,000円（当日受付にて）

※事前学習（同朋社会部会部員説明）を12:30～13:30で開催
いたしますので、併せてご参加ください（受付12:00）。

パレスチナ・ガザで何が起きているのか

ガザは「天井のない監獄」と呼ばれている。イスラエルによって建てられた壁やフェンスに囲われていて、15年以上封鎖状態にあるからだ。このたびの戦闘は2023年10月7日のハマス側の攻撃によって始まるが、パレスチナをめぐる問題は70年以上前からあり、苦難の歴史でもある。

パレスチナは歴史的な経緯からガザ地区とヨルダン川西岸に分かれている。ガザ地区は地中海に面し、面積は365平方キロメートル。北側と東側はイスラエルと、南側はエジプトに接している。約220万人が暮らし、世界で最も人口密度が高い地域の1つとされている。

私たちは何度もパレスチナ問題を耳にしているが、注目度が低く、その認識も薄いものでしかない。これを機会にその一端でも学びたい。特にユダヤ人であるレベッカマリア・ゴールドシュミットさんのお話は、その立場からみて非常に大きな意味があると思う。

講師
アシュリー・サウザー氏

1975年生まれ、1997年来日。広島県東広島市武田高校教諭。生徒に「平和学」を教えている。学校の生徒達と一緒にパレスチナを支援してきたことがみとめられ広島平和創造基金・国際交流奨励賞を受賞。来日以前、NGOとしてパレスチナ・ガザ地区で活動。現在、原爆ドーム前で毎日祈りの集い（ビジル）を実施している「広島パレスチナともしび連帯共同体」のメンバー。

2024年6月20日、NHK BS1「ヒロシマから願うガザの平和」として活動が取りあげられる。2024年6月 中国新聞「緑地帯」・「ガザに思いを寄せて」8回連載。

講師
レベッカマリア・
ゴールドシュミット氏

広島市立大学大学院生。米国出身のユダヤ人。曾祖父母はホロコーストの犠牲者。最初、アメリカのシオニズム（イスラエル建国を正当とする）学校で学び、それを当然と思っていたが、パレスチナの歴史を学び、その背景に気づけなかったと考えを改めた。現在「広島パレスチナともしび連帯共同体」メンバーの中心として活動。

本願寺備後教堂

福山市東町2-4-5
TEL084-924-5759
FAX084-931-9323

備後教区教務所 行
同朋講座参加申込書

組	寺・坊	お名前
組	寺・坊	お名前
組	寺・坊	お名前

※9月8日（日）までにFAXで備後教区教務所内同朋社会部会事務局までお申し込ください。

※参加費は当日受付（12：00～）にてお預かりいたします。（参加費お一人1000円）

備後教区教務所
FAX 084-931-9323